

# 洞爺湖有珠山ジオパーク

Toya Caldera and Usu Volcano Geo Park

## 世界ジオパークネットワーク 加盟決定!!

**洞** 洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）では日本初の「世界ジオパークネットワーク（GGN）」への登録を目指し、「洞爺湖有珠山ジオパーク」として、申請に向けた活動を推進してきました。

そして、8月22日、中国・泰安市で開催されたGGN事務局会議で審議が行われ、「洞爺湖有珠山ジオパーク」が正式にGGNの一員として決定されました。

翌日の午前11時3分、日本ジオパーク委員会を通じて関係者のもとに決定の知らせがはいり、その場は、歓喜の拍手に包まれました。

来年4月にマレーシアのランカウイジオパークで開催される第4回ユネスコジオパーク会議で認定証の授与式が行われます。洞爺湖有珠山地域はその価値と取り組が世界に認められ、そして、新たな一歩をあゆみ始めました。

### 洞爺湖有珠山 ジオパーク

洞爺湖有珠山ジオパークの特徴は10万年スケールの洞爺湖か

ら1〜2万年の有珠山、そして1663年以降9回の火山活動の歴史を見て学ぶことができることであり、「変動する大地との共生」をテーマとしたジオパークです。これまでに幾度となく火山活動により居住地や観光施設などが被害を受けてきましたが、病院、学校などの移転や砂防施設の整備を繰り返し、行政と住民が連携して、火山と共生するまちづくりを行ってきました。このようにこれほど多くの人が住む地域が、活動の盛んな火山に近接している場所は、世界でも例がありません。

また、この地域には地質遺産や自然遺産のほかに、日本有数の遺跡群も数多くあり、縄文時代から近代にかけて、この地域に暮らしていた先人たちの様子も知ることができます。洞爺湖有珠山ジオパークは、変動する大地とそこでの人々の生活を見て学び体験できるジオパークなのです。

この地域におけるこれまでの学術的な研究成果や防災対策は世界的に高く評価され、行政機関、住民、学識者が連携して防災・減災に取り組んできていま

### 世界ジオパーク ネットワーク (GGN)加盟 決定までの道のり

19・8・31 フォーラム開催 洞爺湖ビジターセンター）、「ジオパーク構想と洞爺湖周辺地域エコミュージアム」

19・11・12 洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会としてGGNの認定に向け取り組みを確認

20・6・2 洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会設置 岡田弘委員長ほか10名）地質遺産、文化遺産、自然遺産等の遺産価値について、専門家の観点から検討を行うことを目的に設置

20・6・7〜8 洞爺湖サミット開催記念 洞爺湖周辺地域エコミュージアム・ジオツアー」実施

20・6・22〜26 第3回ユネスコジオパーク会議（ドイツ）プレゼンテーションを行ない登録申請に向けた地域のアピール

20・7・18 日本ジオパーク連絡協議会総会 日本ジオパーク委員会に世界ジオパーク申請書提出

20・9・4 第2回日本ジオパ